



I 第19週の発生動向 (2022/5/9~5/15)

1. 警報・注意報は発令されていません。

II 第19週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原 保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週 からの 増減 数	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科															0	
小児科	インフルエンザ															0
	RSウイルス感染症															0
	咽頭結膜熱	3	0.38			2	0.20	1	0.20			1	0.25	7	0.17	5
	A群溶血性レンカ球菌咽頭炎	1	0.13											1	0.02	-2
	感染性胃腸炎	23	2.88	35	3.89	43	4.30	14	2.80	17	2.83	2	0.50	134	3.19	46
	水痘					6	0.60							6	0.14	2
	手足口病															0
	伝染性紅斑															-2
	突発性発しん	4	0.50	2	0.22	4	0.40	1	0.20	1	0.17	1	0.25	13	0.31	-1
	ヘルパンギーナ															-1
流行性耳下腺炎	1	0.13											1	0.02	1	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															-1
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															-1
	マイコプラズマ肺炎															0
	無菌性髄膜炎											1	1.00	1	0.17	0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓



腸管出血性大腸菌感染症は、ベロ毒素を産生する腸管出血性大腸菌の感染によって起こる全身性疾患です。代表的なものは「O157」で、そのほかに「O26」や「O111」などが知られています。通常は、気温が高い初夏から初秋にかけて多発しますが、冬にも報告があるため注意が必要です。

一般的な症状は、腹痛、水様性下痢及び血便ですが、嘔吐や38℃台の高熱を伴うこともあります。さらに、ベロ毒素の作用により溶血性貧血や急性腎不全を来し、溶血性尿毒症症候群を引き起こすこともあります。

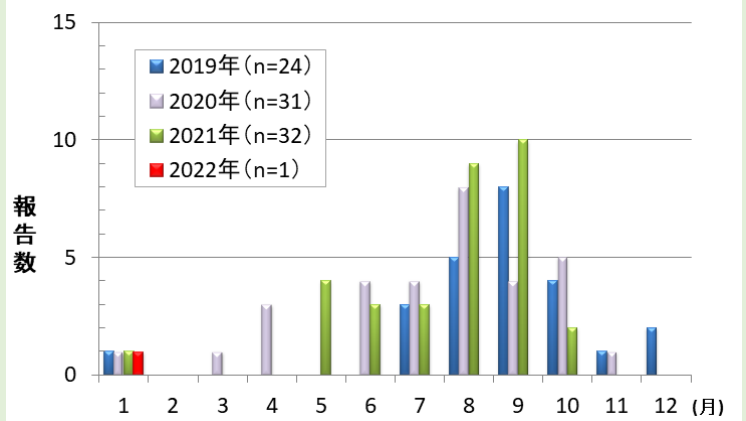
腸管出血性大腸菌の感染は、飲食物を介した経口感染であり、菌に汚染された飲食物を摂取したり、患者の糞便に含まれる大腸菌が直接または間接的に口から入ることによって感染します。

基本的な感染予防対策は手洗いです。腸管出血性大腸菌は75℃で1分以上の加熱で死滅するため、食品はよく加熱してから食べましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう！\(青森県HP\)](#)

腸管出血性大腸菌感染症 (第三類感染症)



図：青森県の腸管出血性大腸菌感染症 年別・月別報告状況 (2019~2022年)



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類感染症）：青森市1人、むつ1人 (2022年計：57人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）：弘前1人、八戸市1人 (2022年計：3人)
- ・つつが虫病（四類感染症）：むつ1人 (2022年計：1人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

感染性胃腸炎患者（ふん便、R3/12/16）・・・アストロウイルス及びヒトボカウイルス：弘前1人
 水痘患者（咽頭ぬぐい液、1/4）・・・VZV：弘前1人
 急性脳症・脳炎、無菌性髄膜炎疑い患者（髄液、4/13）・・・HSV-1：上十三1人

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2022年第16週～第19週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
16						
17		クロイツフェルト・ヤ コブ病1人 劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人				
18						
19		腸管出血性大腸菌 感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人			つつが虫病1人

Ⅵ 結核(二類感染症) (2022年第16週～第19週) (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
16	3		1	2		
17		1				
18	1				1	
19	1					1

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2022年第1週～第18週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	オウム病	回帰熱	重症熱性血小板減少症候群	
累積報告数	4632	11	285	3	149	23	8	3	5	19	
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	
累積報告数	55	7	24	1	1	5	2	359	1	155	
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	
累積報告数	62	482	6	83	1	59	258	277	9	66	
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	
累積報告数	3	404	97	3339	46	19	54	190	3	1	
分類	五類										
疾病名	薬剤耐性アシネトバクター感染症										
累積報告数	1										

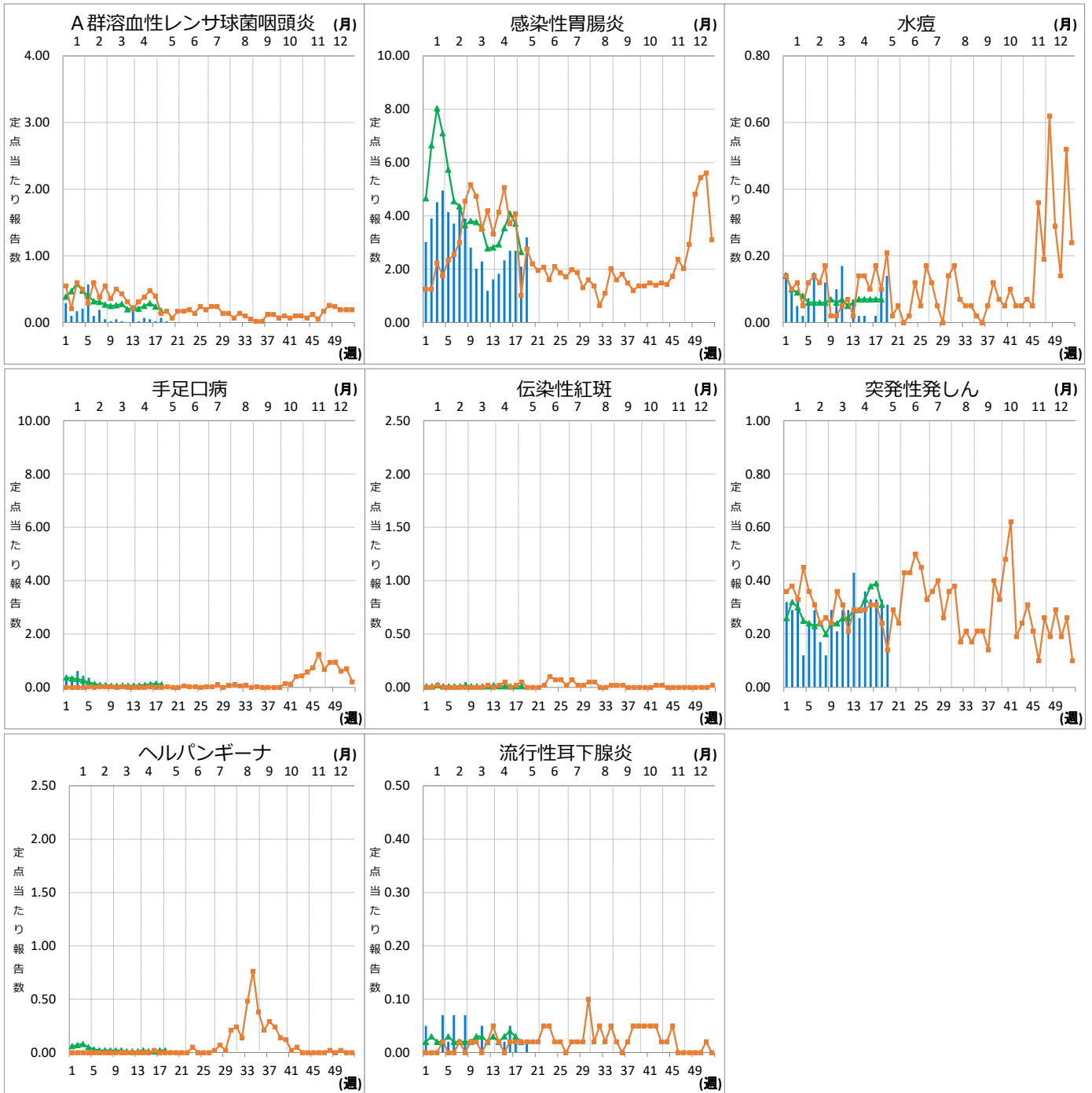
青森県（2022年第1週～第19週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	57	3	1	1	7	1	4	2	1	7

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2022年第19週、ただし全国は前週）

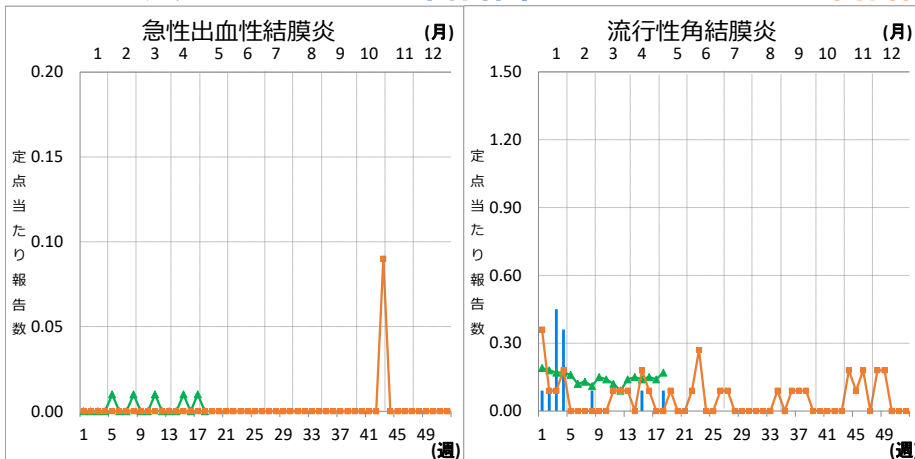
グラフの説明 は2022年青森県、 は2021年青森県、 は2022年全国





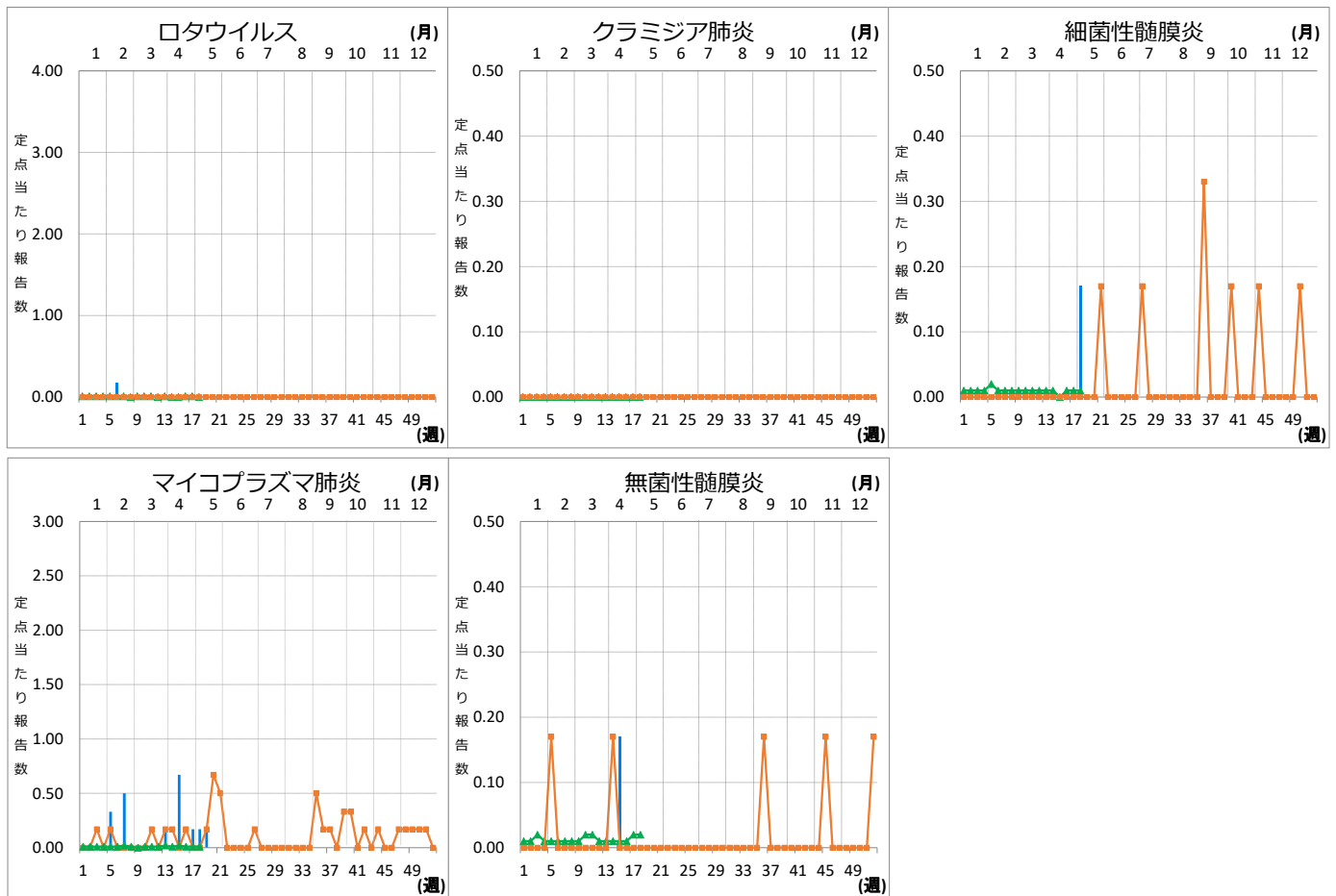
Ⅹ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2022年第19週、ただし全国は前週)

グラフの説明 —は2022年青森県、■—■は2021年青森県、▲—▲は2022年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2022年第19週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2022年青森県、 は2021年青森県、 は2022年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2022年第19週

報告はありませんでした。

2022年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	月(週)					計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14週-17週	18週-19週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0
児童・婦人関係施設等	件数	6	2	2	0	0	10
	発症者数	157	29	37	0	0	223
障害関係施設	件数	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	6	2	2	0	0	10
	発症者数	157	29	37	0	0	223